

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 3日 更新

事務事業名		中央公民館運営事業（協議会参画）				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	岐部則夫
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	斉藤明子
	施策の柱	66	学習の啓発			所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目		会計一般	款10	項5	目3	事業連番10944	根拠法令	成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 18 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		

★事務事業の概要（PLAN）

【事業の内容】	公民館事業のよりよい運営に資する事業。中央公民館が開館したとき、公民館の協議会に加入した。
【業務の流れ】	各レベルの公民館協議会に加入し負担金を支払い、情報誌や事業の資料を閲覧する。また公民館大会等に参加し、見聞を広め公民館活動運営の参考とする。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 公民館振興市町村負担金等、各種協議会等負担金を支払った。 熊本県公民館研究大会に参加した。		28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 公民館振興市町村負担金等、各種協議会負担金の支払い。熊本県公民館研究大会参加。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
⇒ ア 熊本県公民館研究大会参加職員数	イ	九州地区公民館研究大会参加旅費及び研修負担金の増額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
公民館及びコミュニティ担当職員	⇒ ア 公民館及びコミュニティ担当職員	イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 人	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
施設や学習内容を知ることによって学習に取り組むことの必要性を認識できる。	⇒ ア 熊本県公民館研究大会参加職員数	イ
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	人	人	8	8	9	8	9	9	9	9	
② 対象指標	人	人	8	8	9	9	8	8	9	0	
③ 成果指標	人	人	8	7	9	8	8	8	8	8	
投資 入費 量	事業 費	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	64	55	55	61	65			
	(A) 事業費計	千円	64	55	55	61	65	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	64	55	45	55	55	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	1	0	1	0	0	0
		延べ業務時間	時間	105	500	5	0	5	0	0	0
	(B) 人件費計		千円	418	1,992	19	0	19	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	482	2,047	74	61	84	0	0	0	

事務事業名	中央公民館運営事業（協議会参画）	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 熊本県公民館研究大会に公民館担当職員、社会教育指導員ともに参加した。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 熊本県公民館研究大会の開催予定があるため。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 職員の情報入手については、協議会に加入していることで確保しているが、研修機会については、財政難の折研修旅費が認められず、成果の向上まで及んでいないから。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金額は定額のため削減できないが、研修資料代の削減は考えられるから。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 担当職員は、他業務と兼ねて公民館活動業務を行っているため、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 担当職員の資質向上の成果は、公民館講座関係受講者全体の利益につながるため、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 大会の参加等は住民や他の団体が行うべきものではないから。

3 評価結果の総括（CHECK）

熊本県公民館研究大会に公民館担当職員、社会教育指導員ともに参加した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							